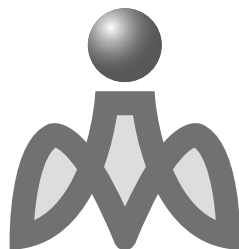


山 梨 県

商工会地区

中小企業景況調査報告書

〔令和5年10月～12月実績〕
〔令和6年1月～3月予測〕



未来に敏感、人が中心

山梨県商工会連合会

目 次

I 調 査 要 領	1
II 景 況	
1. 産業全体の業況概観	2
2. 製造業の動向	
(1) 景 況 概 観	3
(2) 主な項目で見る業況	3
3. 建設業の動向	
(1) 景 況 概 観	6
(2) 主な項目で見る業況	6
4. 小売業の動向	
(1) 景 況 概 観	9
(2) 主な項目で見る業況	9
5. サービス業の動向	
(1) 景 況 概 観	12
(2) 主な項目で見る業況	12

【I】 調 査 要 領

1. 調 査 対 象

(1) 対象地区 19商工会 (2) 対象企業数 165企業 (3) 回答企業数 162企業

2. 調査対象期間

第3四半期 令和5年10月～12月期 「調査時点：令和5年11月15日」

3. 調 査 方 法

県内の調査対象企業を19商工会の経営指導員等が訪問面接調査

4. 調査対象企業（モニター企業）の商工会別、業種内訳

商工会名	製 造 業	建 設 業	小 売 業	サービス業	計
都 留 市	3	2	3	4	12
山 梨 市	1	2	2	3	8
大 月 市	2	1	3	1	7
韮 崎 市	2	2	1	2	7
南アルプス市	3	2	4	6	15
北 杜 市	4	2	5	4	15
甲 斐 市	4	3	5	2	14
笛 吹 市	3	2	4	6	15
上 野 原 市	2	1	2	2	7
甲 州 市	3	1	2	3	9
中 央 市	2	1	1	1	5
市 川 三 郷 町	2	1	1	2	6
身 延 町	1	1	2	2	6
南 部 町	1	0	1	1	3
富 士 川 町	1	1	1	2	5
昭 和 町	1	1	3	3	8
西 桂 町	0	0	1	1	2
南 都 留 中 部	1	1	2	2	6
河 口 湖	1	1	6	4	12
計	37	25	49	51	162

5. そ の 他

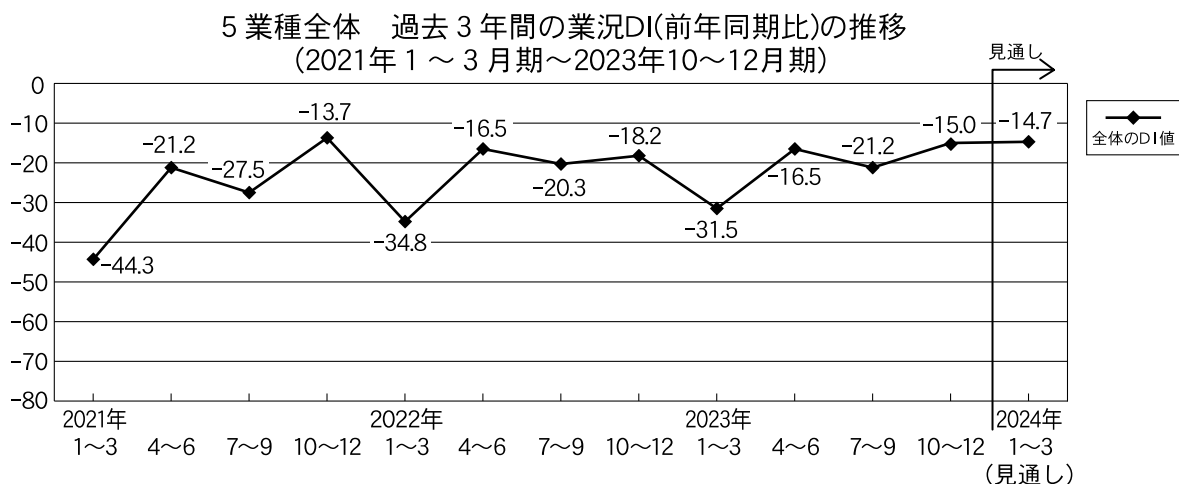
本報告書のD Iとは、ディフュージョン・インデックス（景気動向指数）の略で、各調査項目について前年同期と比較して、増加（上昇、好転、長期化等）とする企業割合と、逆に減少（低下、悪化、短期化等）とする企業割合の差を示すものである。

【Ⅱ】 景 況

1. 産業全体の業況概観

本県における5業種全体の業況判断D I、及び、産業別の業況判断D Iについてみる。

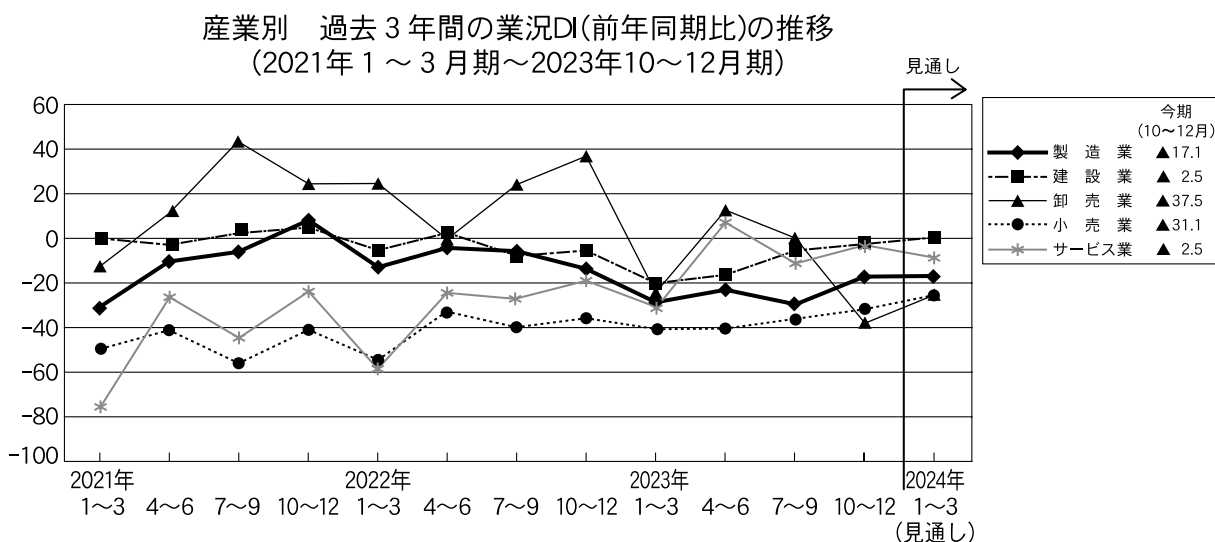
まず、前年同期比でみた過去3年間の5業種全体の業況判断D Iである。今期の業況判断D Iは、▲15.0と前期比で6.2ポイント改善している。来期も▲14.7とほぼ今期同等の見通しである。



次に、前年同期比でみた過去3年間の産業別の業況判断D Iである。

製造業、建設業、小売業、サービス業が前期より改善、卸売業が悪化した。製造業は▲17.1で前期比+12.2ポイント、建設業が▲2.5で前期比+2.5ポイント、卸売業が▲37.5で前期比▲37.5ポイント、小売業が▲31.1で前期比+5.0ポイント、サービス業が▲2.5で前期比+8.1ポイントであった。

来期は、製造業が今期同等、サービス業が悪化、他は今期業況判断より改善の見通しとなっている。



【注記】 上記、産業全体の業況概観については、商工会調査対象162企業に甲府・富士吉田地域等からの123企業を含めた285サンプルを使用。卸売業については、中小企業基盤整備機構調査によるデータのみを使用。次ページからの産業別景況D Iについては、商工会地区企業のサンプル分析に基づくものである。

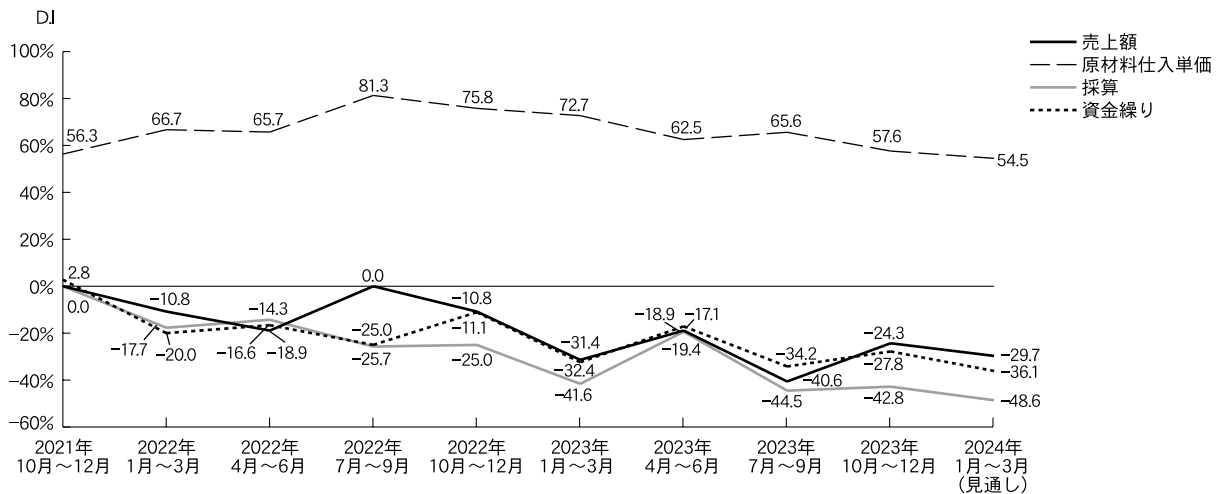
2. 製造業の動向

(1) 景況概観

売上額D Iは、今期▲24.3と前期比で16.3ポイント改善したが、来期は▲29.7へ悪化の見通し。原材料仕入単価D Iは、今期57.6と前期比で8ポイント下降（改善）し、来期も54.5へ下降（改善）の見通し。採算D Iは、今期▲42.8と前期比で1.7ポイント改善したが、来期は▲48.6へ悪化の見通し。資金繰りD Iも、今期▲27.8と前期比で6.4ポイント改善したが、来期は▲36.1へ悪化の見通しである。

今期は全D Iが改善したが、来期は材料仕入単価D Iのみが改善の見通しで、それ以外のD Iは悪化見通しとなっている。

山梨県 製造業 主要景況項目の推移－前年同期比－



(2) 主な項目でみる業況

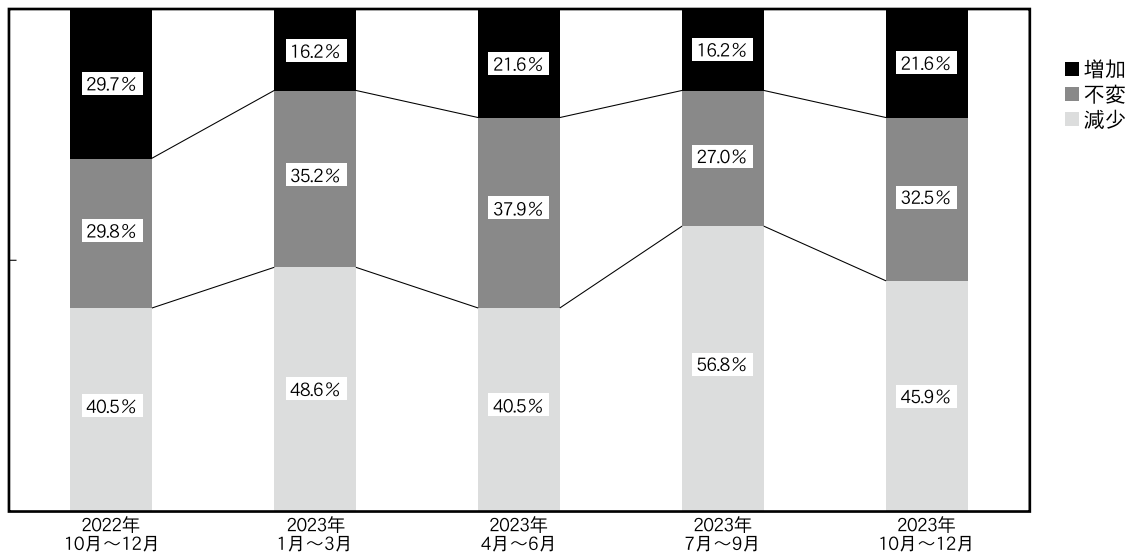
① 売上額（売上額D Iの内容（回答企業数37社））

「増加」と答えた企業の割合は、21.6%（8社）と増加（前期比+2社）している。

「不変」は32.5%（12社）と増加（前期比+2社）、

「減少」は45.9%（17社）と減少（前期比▲4社）している。

山梨県 製造業 売上額の状況－前年同期比－



② 採算（採算D I の内容（回答企業数35社（前回36社））

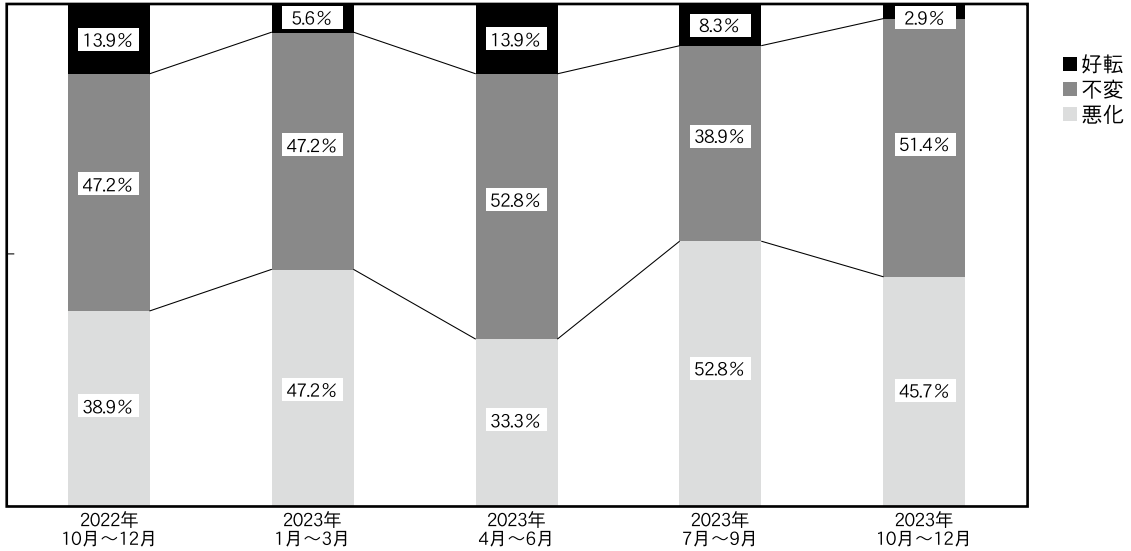
※ 本調査では、経常利益を「採算」として尋ねている。

「好転」と答えた企業の割合は、2.9%（1社）と減少（前期比▲2社）している。

「不変」は51.4%（18社）と増加（前期比+4社）、

「悪化」は45.7%（16社）と減少（前期比▲3社）している。

山梨県 製造業 採算の状況－前年同期比－

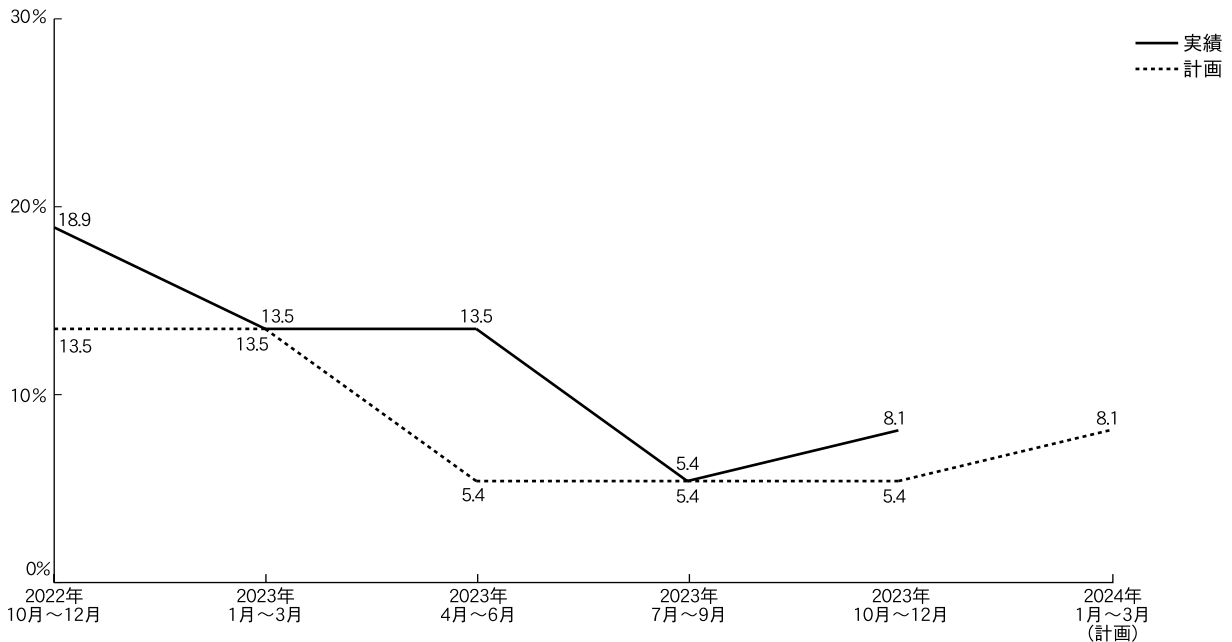


③ 設備投資（直近1年間における設備投資の状況（回答企業数37社））

今期において、設備投資を行った企業の割合は8.1%（3社）であった。その設備投資の内容は、「生産設備」が2件、「車両・運搬具」が1件であった。

来期の計画についても、8.1%（3社）の企業が予定している。その設備投資の内容は「土地」「生産設備」「付帯施設」が1件ずつである。

山梨県 製造業 設備投資の状況



④ 経営上の問題点（回答企業数35社）

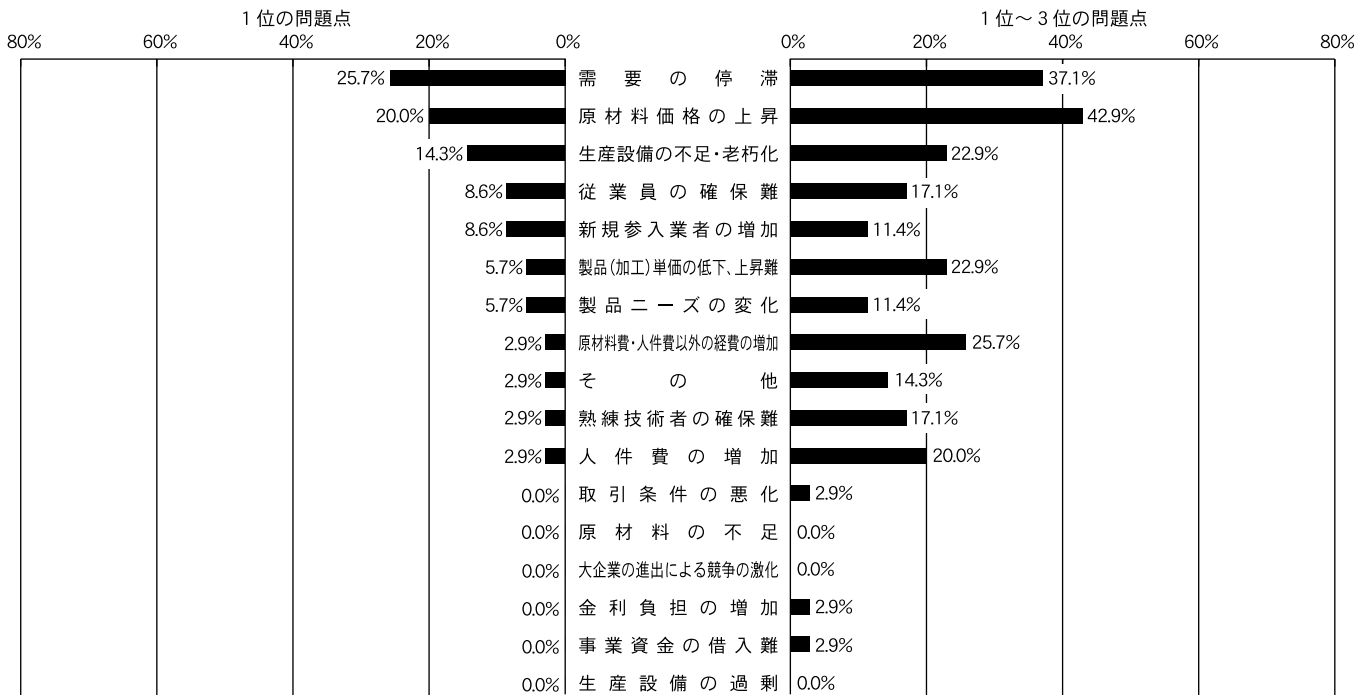
まず、経営上の問題点として、「1位」に挙げられたものからみていく。

1番目に多かったのは、「需要の停滞」の25.7%（9社）であり、2番目は「原材料価格の上昇」の20.0%（7社）であった。

次に、「1位～3位」に挙げられたものをみる。

1番目に多かったのは「原材料価格の上昇」の42.9%（15社）であり、2番目に多かったのは「需要の停滞」の37.1%（13社）であった。

山梨県 製造業 経営上の問題点



⑤ 回答企業の内訳

業種別

業種	企業数	構成比(%)
食料品製造業	4	10.8
飲料・飼料・たばこ製造業	1	2.7
印刷・同関連業	3	8.1
化学工業	1	2.7
プラスチック製品製造業	4	10.8
金属製品製造業	3	8.1
一般機械器具製造業	13	35.1
電気機械器具製造業	3	8.1
精密機械器具製造業	1	2.7
その他製造業	4	10.8
合計	37	100.0

従業員規模別

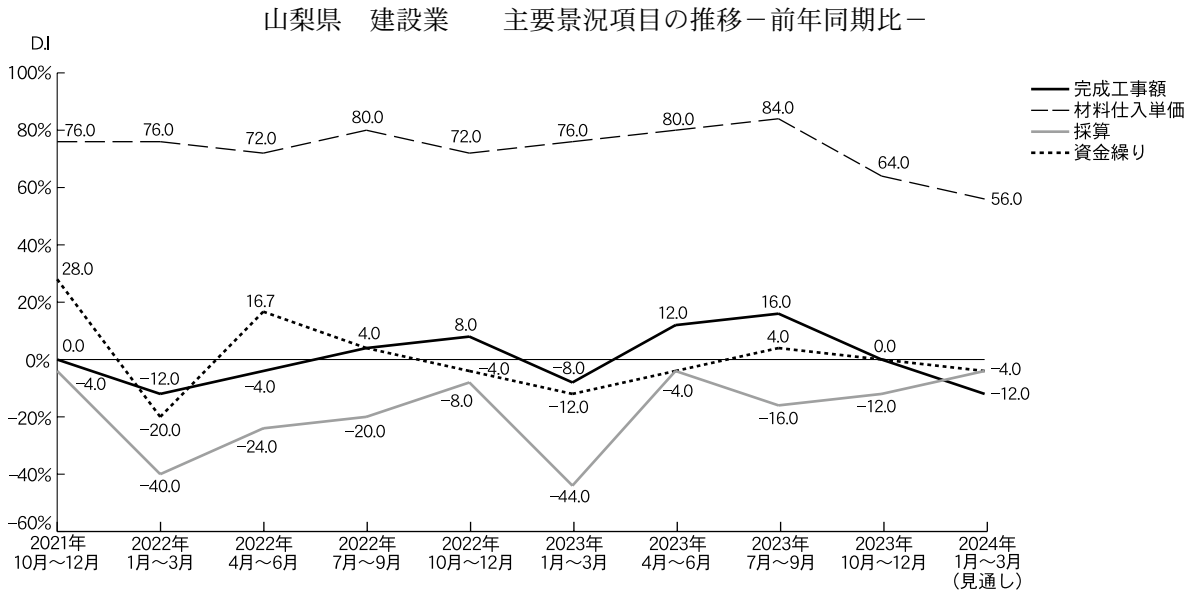
従業員数	雇用形態		臨時等含む	
	常雇い	臨時等含む	常雇い	臨時等含む
	企業数(社)	構成比(%)	企業数(社)	構成比(%)
2人以下	18	48.6	15	40.5
3人～5人以下	9	24.3	7	18.9
6人～10人以下	7	18.9	11	29.7
11人～20人以下	3	8.1	4	10.8
合計	37	100.0	37	100.0

3. 建設業の動向

(1) 景況概観

完成工事額DIは、今期0.0と前期比で16.0ポイント悪化し、来期はさらに▲12.0へ悪化の見通し。材料仕入単価DIは、今期64.0と前期比で20.0ポイント下降(改善)し、来期も56.0へ下降(改善)の見通しである。採算DIは、今期▲12.0と前期比で4.0ポイント改善し、来期も▲4.0へ改善の見通し。資金繰りDIは、今期0.0と前期比で4.0ポイント悪化し、来期も▲4.0へ悪化の見通しである。

今期は完成工事額DIと資金繰りDIとが悪化となり、材料仕入単価DIと採算DIとが改善となった。来期も完成工事額DIと資金繰りDIが悪化の見通しで、材料仕入単価DIと採算DIが改善の見通しである。



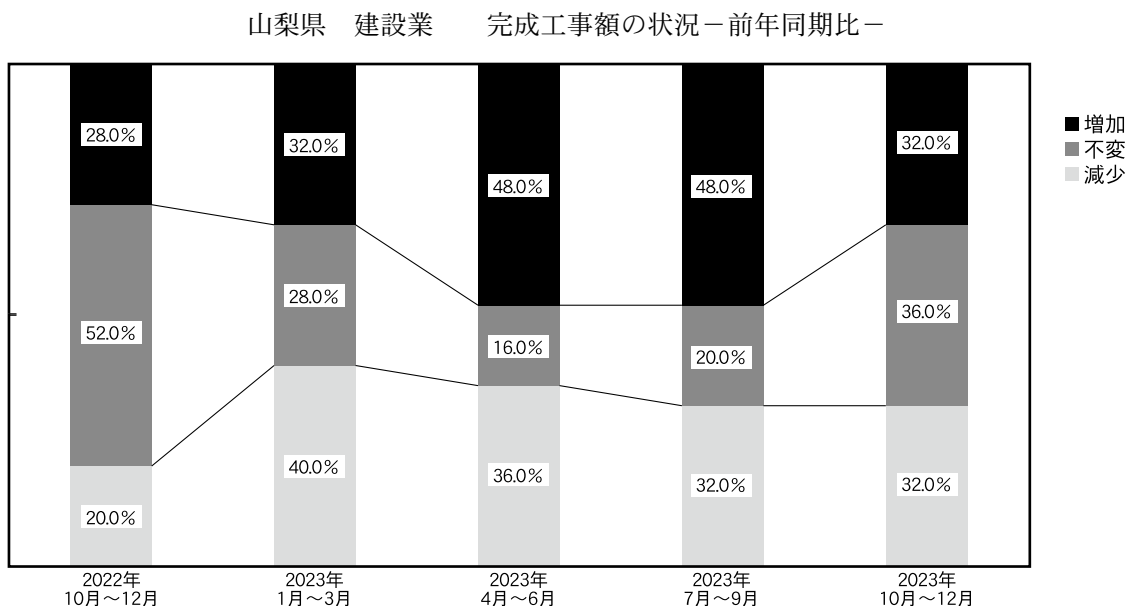
(2) 主な項目で見る業況

① 完成工事額 (完成工事額DIの内容 (回答企業数25社))

「増加」と答えた企業の割合は、32.0% (8社)と減少(前期比▲4社)している。

「不変」は36.0% (9社)と増加(前期比+4社)、

「減少」は32.0% (8社)で変化なし。



② 採算（採算D I の内容（回答企業数25社））

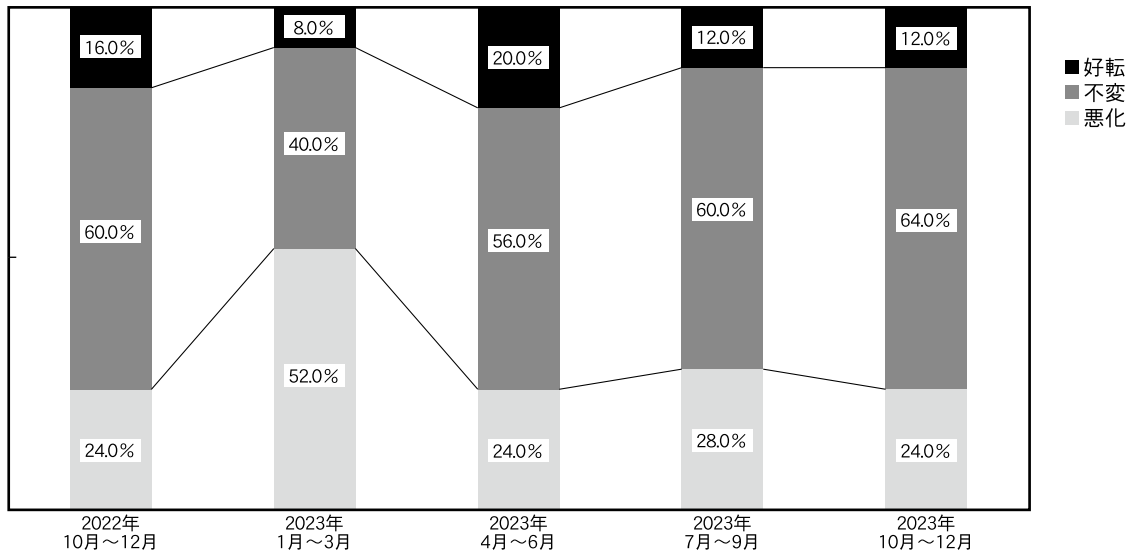
※ 本調査では、経常利益を「採算」として尋ねている。

「好転」と答えた企業の割合は、12.0%（3社）で変化なし。

「不変」は64.0%（16社）と増加（前期比+1社）、

「悪化」は24.0%（6社）と減少（前期比▲1社）している。

山梨県 建設業 採算の状況－前年同期比－

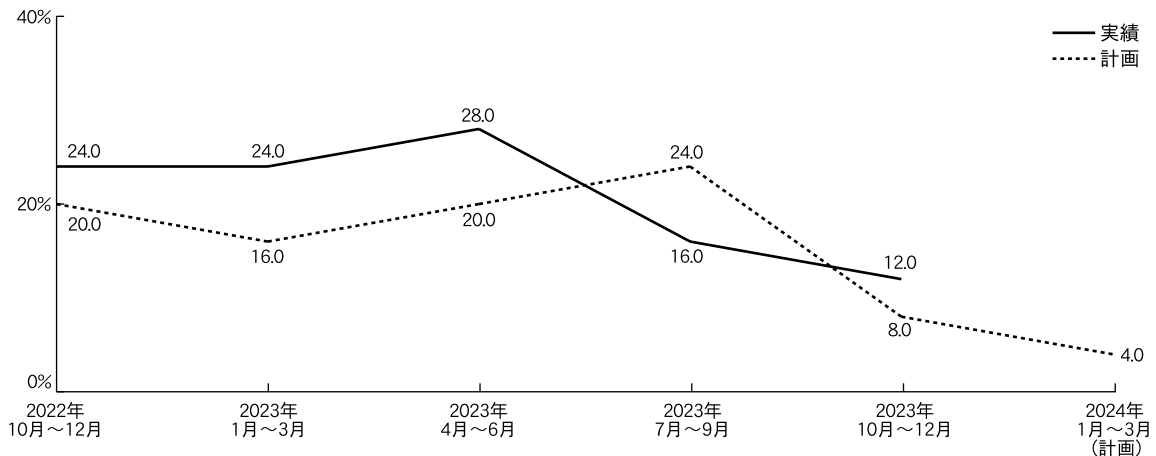


③ 設備投資（直近1年間における設備投資の状況（回答企業数25社））

今期において、設備投資を行った企業の割合は12.0%（3社）であった。その設備投資の内容は、「車両・運搬具」が2件、「付帯施設」「OA機器」が1件ずつであった。

来期の計画については、4.0%（1社）の企業が予定している。その設備投資の内容は、「土地」「建設機械」「車両・運搬具」が1件ずつになる。

山梨県 建設業 設備投資の状況



④ 経営上の問題点（回答企業数25社）

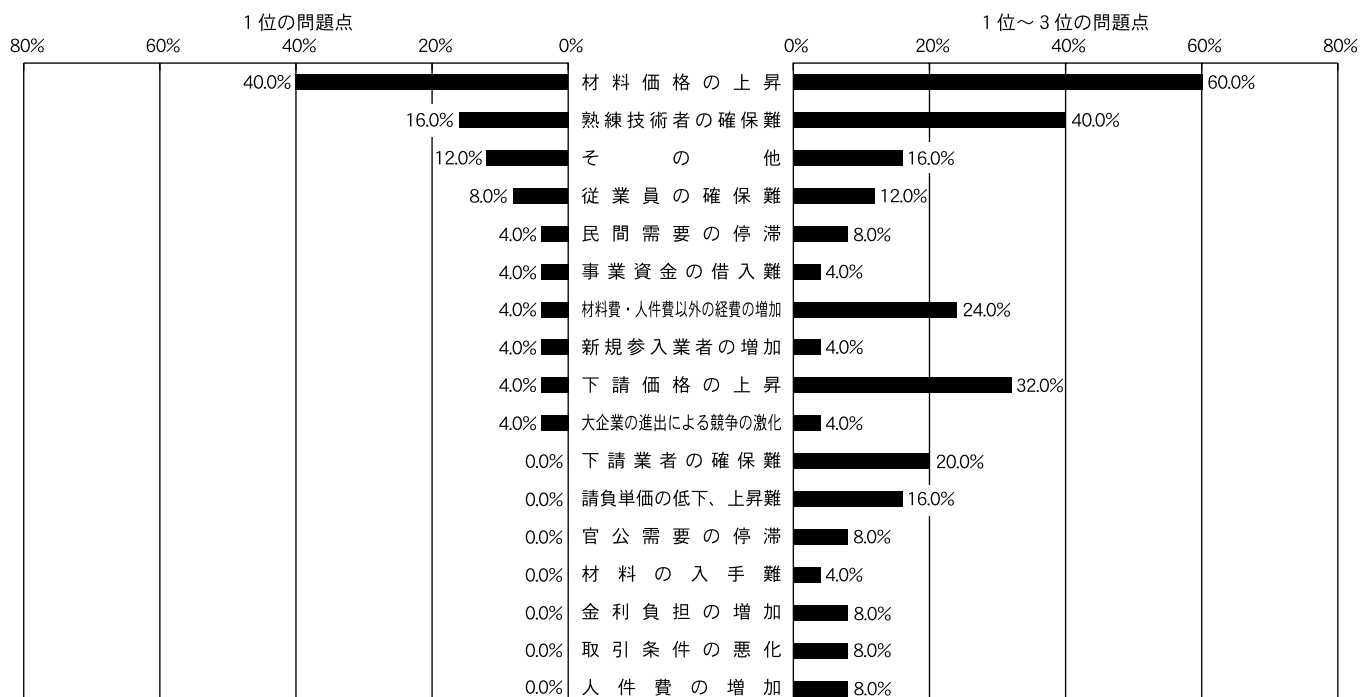
まず、経営上の問題点として、「1位」に挙げられたものからみていく。

過去調査に引き続き「材料価格の上昇」が最も多く挙げられており40.0%（10社）であった。2番目に多かったのは「熟練技術者の確保難」の16.0%（4社）であった。

次に、「1位～3位」に挙げられたものをみる。

こちらも、1番目に多かったのは「材料価格の上昇」の60.0%（15社）であった。2番目に多かったのも「熟練技術者の確保難」の40.0%（10社）であった。

山梨県 建設業 経営上の問題点



⑤ 回答企業の内訳

業種別

業種	企業数	構成比(%)
総合工事業	19	76.0
職別工事業	3	12.0
設備工事業	3	12.0
合計	25	100.0

従業員規模別

従業員数	雇用形態		臨時等含む	
	常雇い	臨時等含む	企業数(社)	構成比(%)
2人以下	9	36.0	8	32.0
3人～5人以下	5	20.0	6	24.0
6人～10人以下	5	20.0	5	20.0
11人～20人以下	5	20.0	5	20.0
21人～50人以下	1	4.0	1	4.0
合計	25	100.0	25	100.0

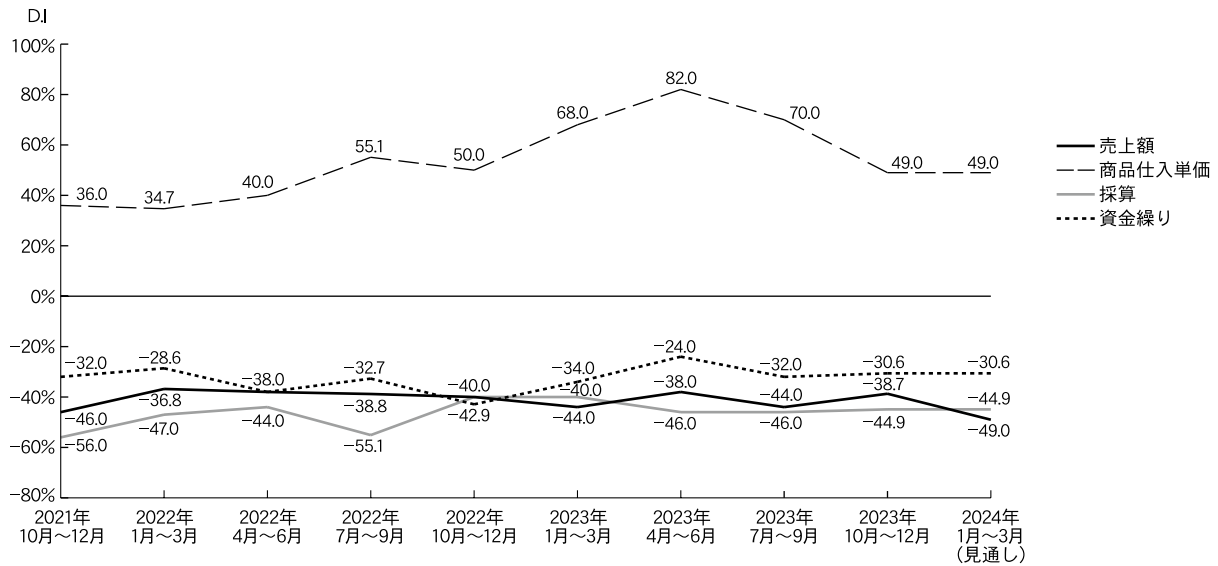
4. 小売業の動向

(1) 景況概観

売上額D Iは、今期▲38.7と前期比で5.3ポイント改善したが、来期は▲49.0へ悪化の見通し。商品仕入単価D Iは、今期49.0と前期比で21.0ポイント下降（改善）し、来期も49.0の見通し。採算D Iは、今期▲44.9と前期比で1.1ポイントと僅かに改善し、来期も▲44.9の見通し。資金繰りD Iは、今期▲30.6と前期比で1.4ポイントと僅かに改善し、来期も▲30.6の見通しである。

今期は全てのD Iが改善した。来期は売上額D Iが悪化の見通しで、他のD Iは変化なしの見通しである。

山梨県 小売業 主要景況項目の推移－前年同期比－



(2) 主な項目でみる業況

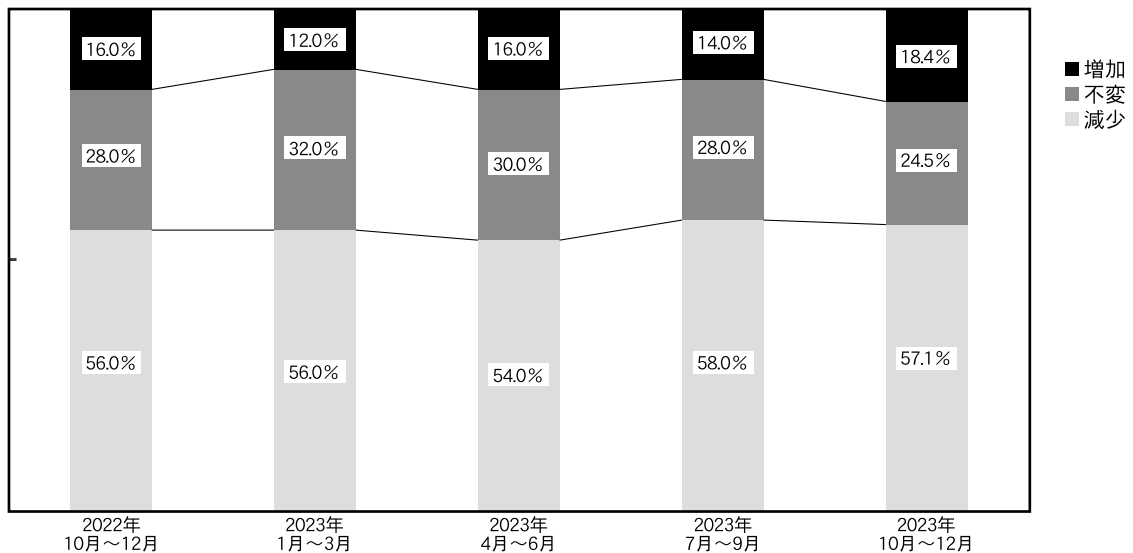
① 売上額（売上額D Iの内容（回答企業数49社（前回50社）））

「増加」と答えた企業の割合は、18.4%（9社）と増加（前期比+2社）している。

「不変」は24.5%（12社）と減少（前期比▲2社）、

「減少」は57.1%（28社）と減少（前期比▲1社）している。

山梨県 小売業 売上額の状況－前年同期比－



② 採算（採算D I の内容（回答企業数49社（前回50社））

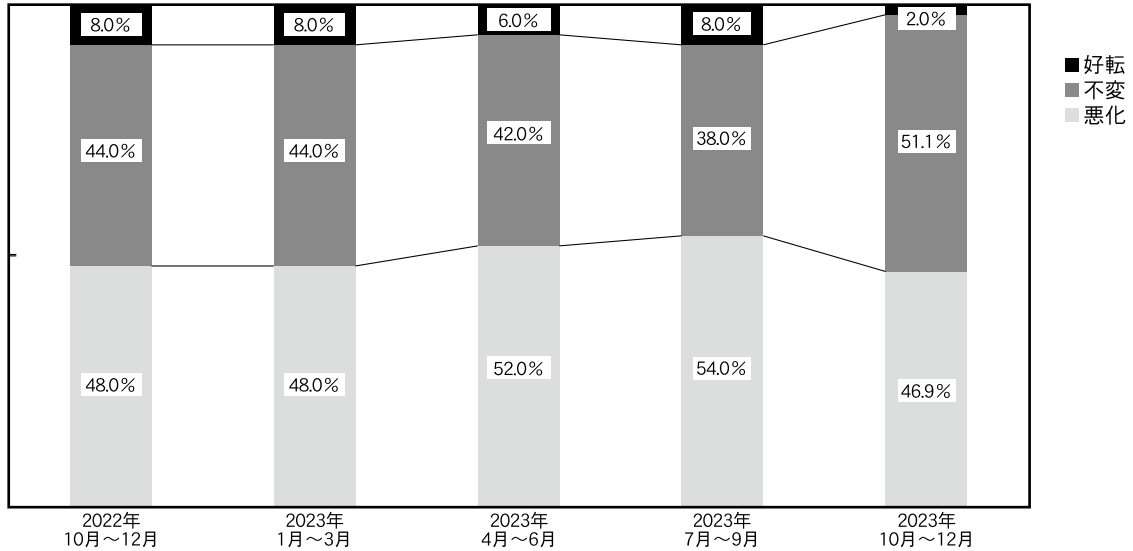
※ 本調査では、経常利益を「採算」として尋ねている。

「好転」と答えた企業の割合は、2.0%（1社）と減少（前期比▲3社）している。

「不変」は51.1%（25社）と増加（前期比+6社）、

「悪化」は46.9%（23社）と減少（前期比▲4社）している。

山梨県 小売業 採算の状況－前年同期比－

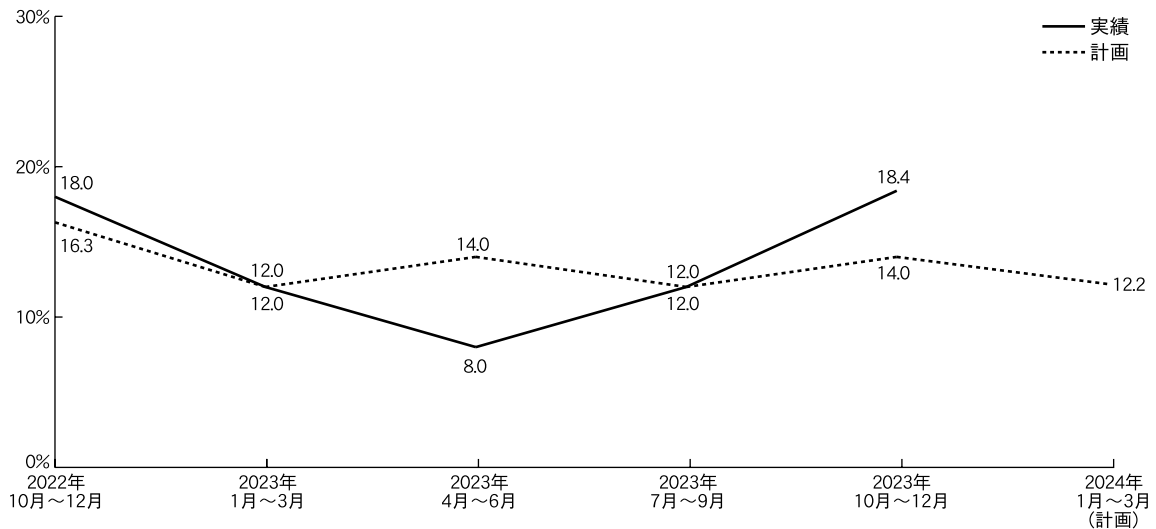


③ 設備投資（直近1年間における設備投資の状況（回答企業数49社）

今期において、設備投資を行った企業の割合は18.4%（9社）であった。その設備投資の内容は、「付帯施設」が3件、「販売設備」「車両・運搬具」「OA機器」「その他」が2件ずつ、「店舗」が1件であった。

来期の計画については、12.2%（6社）の企業が予定している。その設備投資の内容は、「店舗」「車両・運搬具」が3件ずつ、「OA機器」が2件、「販売設備」「その他」が1件ずつになる。

山梨県 小売業 設備投資の状況



④ 経営上の問題点（回答企業数47社）

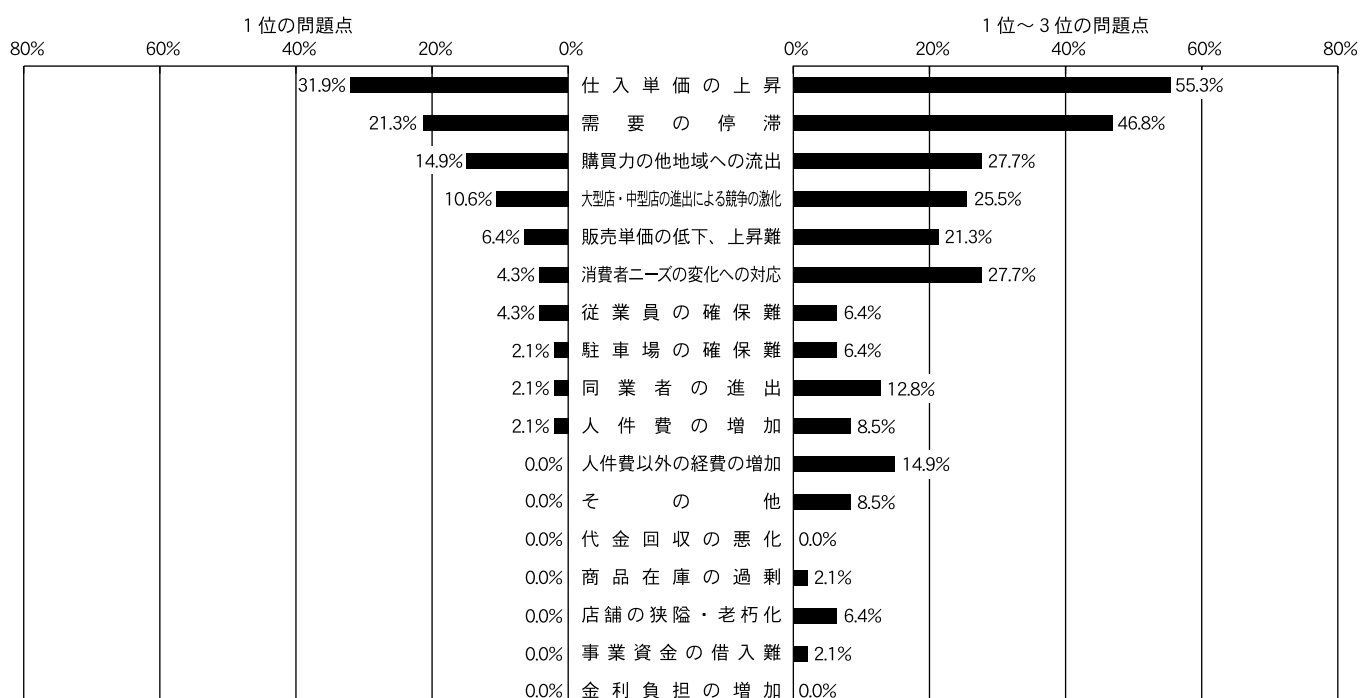
まず、経営上の問題点として、「1位」に挙げられたものからみていく。

1番目に多かったのは、「仕入単価の上昇」の31.9%（15社）であり、2番目は「需要の停滞」の21.3%（10社）であった。

次に、「1位～3位」に挙げられたものをみる。

こちらも1番目に多かったのは、「仕入単価の上昇」の55.3%（26社）であり、2番目は「需要の停滞」の46.8%（22社）であった。

山梨県 小売業 経営上の問題点



⑤ 回答企業の内訳

業種別

業種	企業数	構成比(%)
各種商品小売業	0	0.0
織物・衣服・身の回り品小売業	10	20.4
飲食品小売業	18	36.7
自動車・自転車小売業	2	4.1
家具・建具・じゅう器小売業	4	8.2
その他小売業	15	30.6
合計	49	100.0

従業員規模別

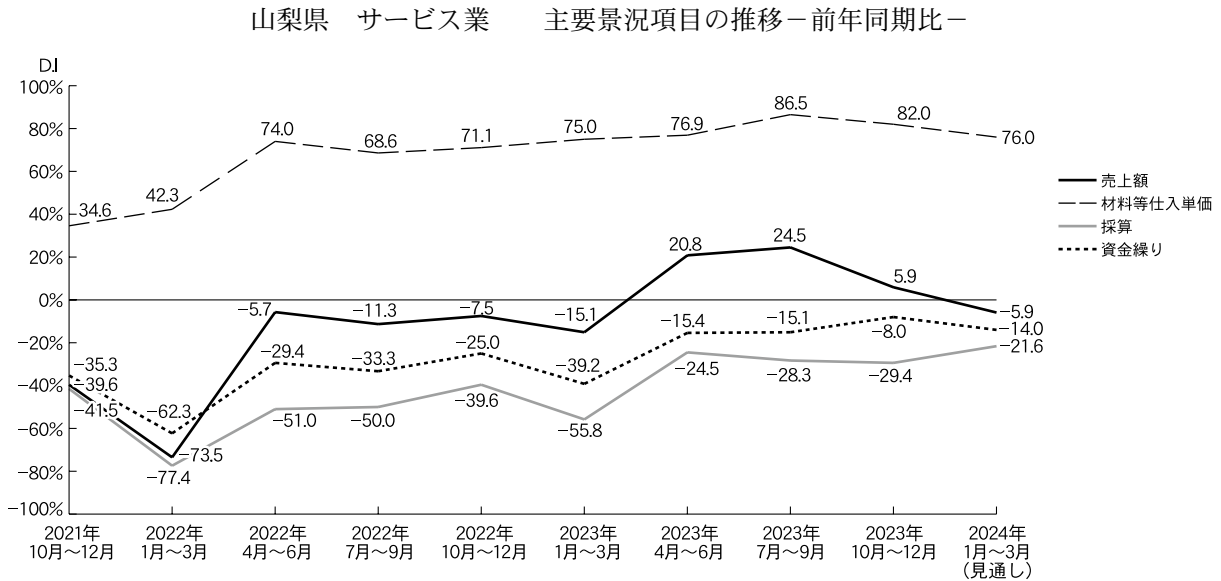
従業員数	雇用形態		臨時等含む	
	常雇い	臨時等含む	常雇い	臨時等含む
	企業数(社)	構成比(%)	企業数(社)	構成比(%)
2人以下	45	91.8	37	75.5
3人～5人以下	4	8.2	12	24.5
6人～10人以下	0	0.0	0	0.0
11人～20人以下	0	0.0	0	0.0
合計	49	100.0	49	100.0

5. サービス業の動向

(1) 景況概観

売上額D Iは、今期5.9と前期比で18.6ポイント悪化し、来期も▲5.9へ悪化の見通し。材料等仕入単価D Iは、今期82.0と前期比で4.5ポイント下降(改善)し、来期も76.0へ下降(改善)の見通し。採算D Iは、今期▲29.4と前期比で1.1ポイント悪化したが、来期は▲21.6へ改善の見通し。資金繰りD Iは、今期▲8.0と前期比で7.1ポイント改善したが、来期は▲14.0へ悪化の見通しである。

今期は売上額D Iと採算D Iが悪化、材料等仕入単価D Iと資金繰りD Iが改善した。来期は売上額D Iと資金繰りD Iが悪化の見通し、材料等仕入単価D Iと採算D Iは改善の見通しである。



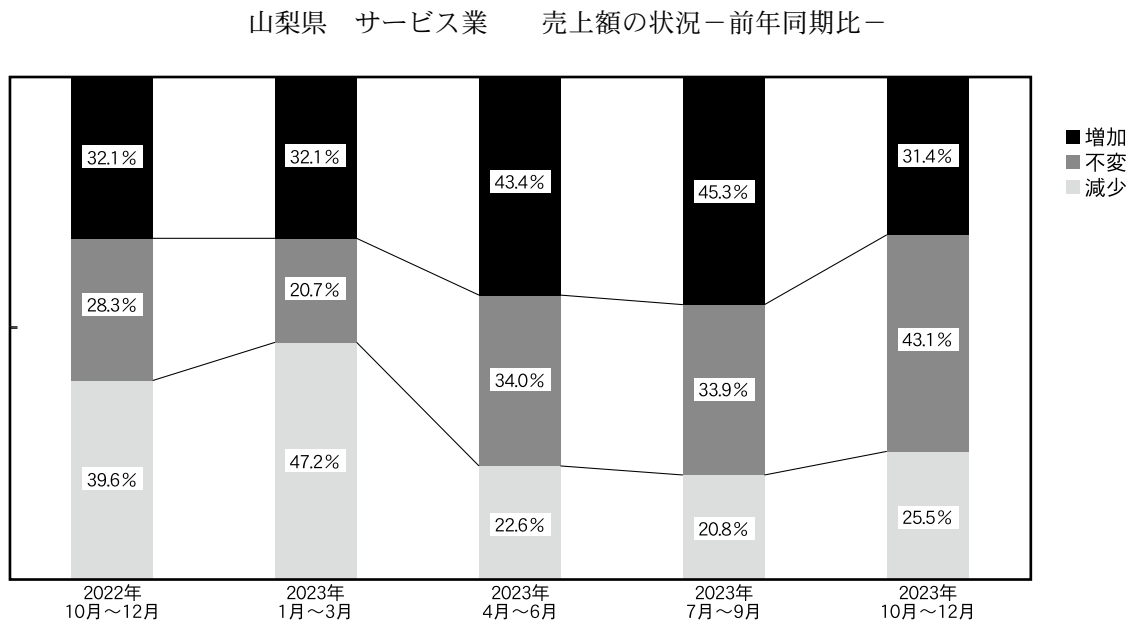
(2) 主な項目でみる業況

① 売上額 (売上額D Iの内容 (回答企業数51社 (前回53社)))

「増加」と答えた企業の割合は、31.4% (16社)と減少(前期比▲8社)している。

「不変」は43.1% (22社)と増加(前期比+4社)、

「減少」は25.5% (13社)と増加(前期比+2社)している。



② 採算（採算D I の内容（回答企業数51社（前回53社））

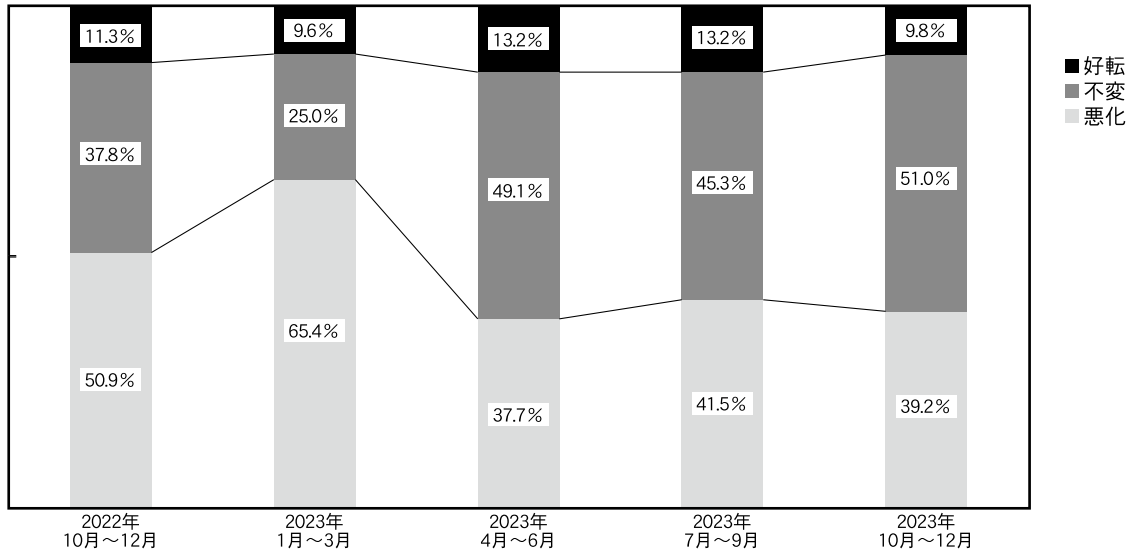
※ 本調査では、経常利益を「採算」として尋ねている。

「好転」と答えた企業の割合は、9.8%（5社）と減少（前期比▲2社）している。

「不変」は51.0%（26社）と増加（前期比+2社）、

「悪化」は39.2%（20社）と減少（前期比▲2社）している。

山梨県 サービス業 採算の状況－前年同期比－

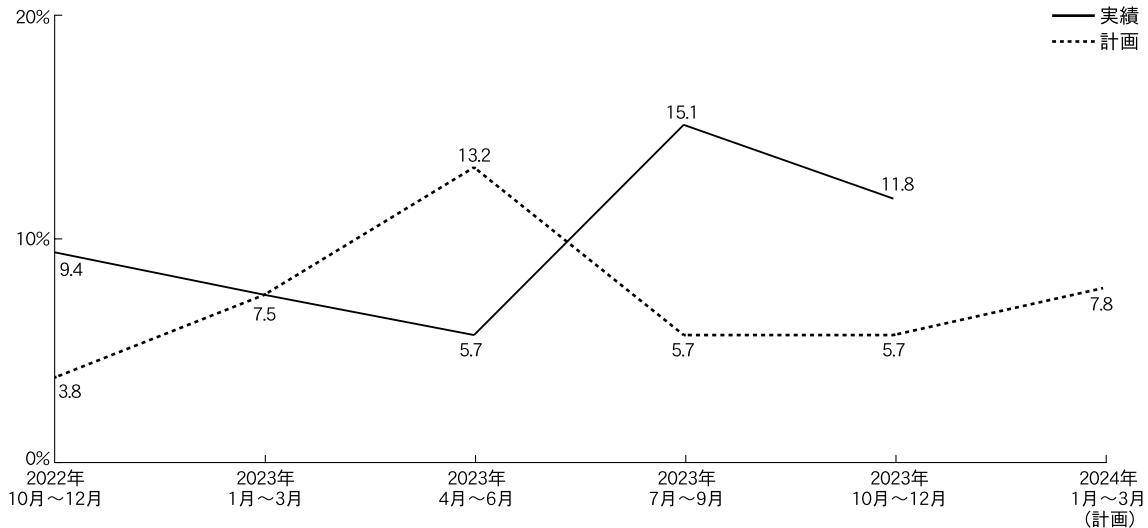


③ 設備投資（直近1年間における設備投資の状況（回答企業数51社）

今期において、設備投資を行った企業の割合は11.8%（6社）であった。その設備投資の内容は、「サービス」が3件、「車両・運搬具」が2件、「建物」「OA機器」「その他」が1件ずつであった。

来期の計画については、7.8%（4社）の企業が予定している。その設備投資の内容は、「建物」「サービス」が2件ずつ、「車両・運搬具」「OA機器」が1件ずつになる。

山梨県 サービス業 設備投資の状況



④ 経営上の問題点（回答企業数46社）

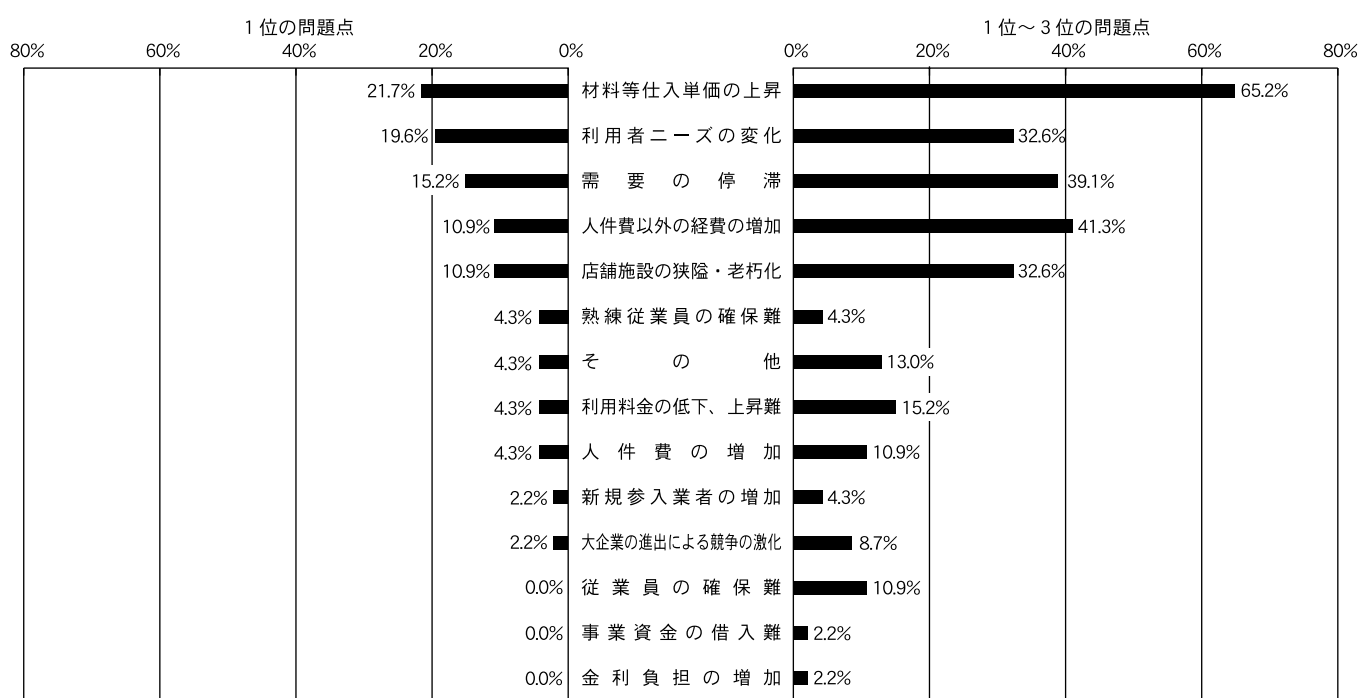
まず、経営上の問題点として、「1位」に挙げられたものからみていく。

1番目に多かったのは、「材料等仕入単価の上昇」の21.7%（10社）であり、2番目は「利用者ニーズの変化」の19.6%（9社）であった。

次に、「1位～3位」に挙げられたものをみる。

1番目に多かったのは、「材料等仕入単価の上昇」の65.2%（30社）であり、2番目は「人件費以外の経費の増加」の41.3%（19社）であった。

山梨県 サービス業 経営上の問題点



⑤ 回答企業の内訳

業種別

業種	企業数	構成比(%)
一般飲食店（一般・遊興）	17	33.3
宿泊業	7	13.7
運送業	1	2.0
自動車整備業	4	7.8
洗濯・理美容業	19	37.3
その他のサービス業	3	5.9
合計	51	100.0

従業員規模別

従業員数	雇用形態		臨時等含む	
	常雇い			
	企業数(社)	構成比(%)	企業数(社)	構成比(%)
2人以下	44	86.3	38	74.5
3人～5人以下	7	13.7	12	23.5
6人～10人以下	0	0.0	1	2.0
11人～20人以下	0	0.0	0	0.0
合計	51	100.0	51	100.0